ダイワ・ライジング・タイランド株式ファンド

運用報告書（全体版）
満期償還
（償還日　2023年２月27日）
（作成対象期間　2022年８月30日～2023年２月27日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、輸出や投資、消費の拡大に注目して、タイ企業の株式に投資し、値上がり益の獲得を追求することにより、信託財産の成長をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	2013年２月28日～2023年２月27日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド	タイ企業の株式（ＤＲ（預託証券）を含みます。）	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa-am.co.jp/

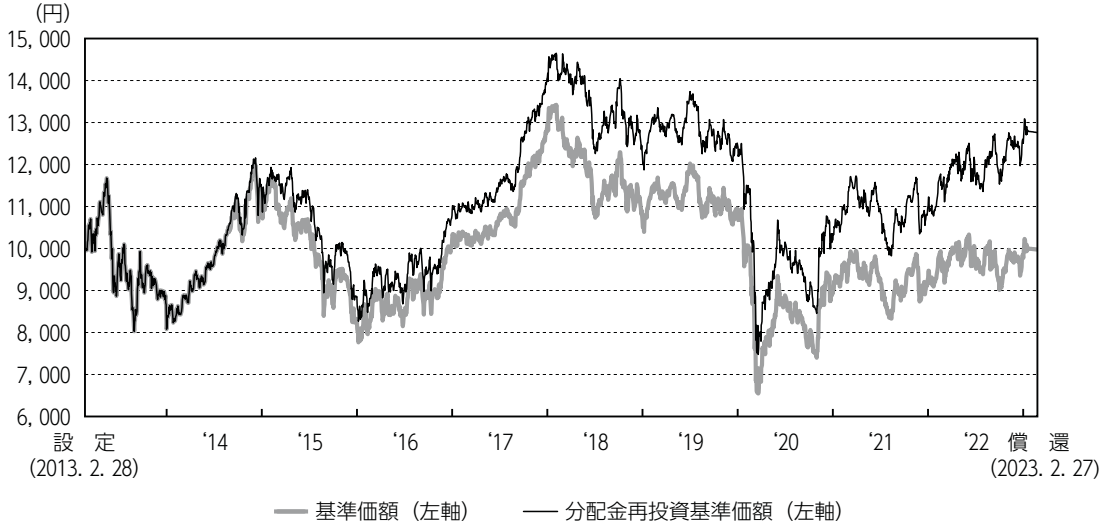
最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額			ＭＳＣＩタイ指数（配当込み、円換算）		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	（分配落）	税込分配金	期中騰落率	（参考指数）	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
16期末（2021年３月１日）	9,205	300	12.3	13,320	14.0	96.1	—	2,401
17期末（2021年８月27日）	8,948	40	△ 2.4	13,476	1.2	95.7	—	3,042
18期末（2022年２月28日）	9,457	200	7.9	14,854	10.2	95.6	—	2,021
19期末（2022年８月29日）	9,586	550	7.2	16,404	10.4	96.6	—	1,894
償　還（2023年２月27日）	9,974.41	—	4.1	16,843	2.7	—	—	1,169

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）ＭＳＣＩタイ指数（配当込み、円換算）は、ＭＳＣＩ Inc.（「ＭＳＣＩ」）の承諾を得て、ＭＳＣＩタイ指数（配当込み、タイ・バーツベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。ＭＳＣＩタイ指数（配当込み、タイ・バーツベース）は、ＭＳＣＩが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はＭＳＣＩに帰属します。またＭＳＣＩは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、ＭＳＣＩによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、ＭＳＣＩは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。〔 https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html 〕
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注５）株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注６）株式組入比率は新株予約権証券を含みます。
（注７）株式先物比率は買建比率－売建比率です。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

設定時：10,000円
償還時：　9,974円41銭（既払分配金2,640円）
騰落率：27.6%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

タイ株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。タイ株式市況の上昇やタイ・バーツの対円での上昇（円安）がプラス要因となりました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ライジング・タイランド株式ファンド

年月日	基準価額		ＭＳＣＩタイ指数（配当込み、円換算）		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	（参考指数）	騰落率		
	円	%		%	%	%
（期首）2022年8月29日	9,586	—	16,404	—	96.6	—
8月末	9,582	△ 0.0	16,322	△ 0.5	95.2	—
9月末	9,215	△ 3.9	16,002	△ 2.5	94.1	—
10月末	9,662	0.8	16,657	1.5	95.1	—
11月末	9,853	2.8	17,072	4.1	95.6	—
12月末	9,850	2.8	17,132	4.4	95.8	—
2023年1月末	9,993	4.2	17,778	8.4	—	—
（償還）2023年2月27日	9,974.41	4.1	16,843	2.7	—	—

（注）騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について （2013. 2. 28 ～ 2023. 2. 27）

■タイ株式市況

タイ株式市況は上昇しました。

当ファンド設定時から2020年１月にかけてのタイ株式市況は、おおむね上昇基調で推移しました。前半は、タイ中央銀行の利下げやタイ軍事政権下の景気回復期待などが相場を後押ししました。後半に入ると、タイ国内景気の回復に加え、先進国でマイナス金利が広がり高いリターンを求める資金がアセアン市場へ流入したことなどが、支援材料となりました。２月に入ると、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大から観光産業を中心にタイ経済への悪影響が懸念され、下落しました。11月から2023年２月の償還にかけては、新型コロナウイルスのワクチン普及による世界経済の正常化や、タイでの行動制限の緩和が進んだことなどを背景に、おおむね上昇基調となりました。

■為替相場

タイ・バーツは、円に対して上昇しました。

タイ・バーツの対円為替相場は、当ファンド設定時から2016年12月にかけて、中国の景気減速や原油価格の下落などを受けて世界的にリスク回避姿勢が強まった局面ではタイ・バーツは弱含んで推移した一方で、米国の大統領選挙でトランプ氏が当選し経済政策への期待から市場のリスク選好姿勢が強まった局面では強含んで推移するなど、方向感のない動きとなりました。2017年から2023年２月の償還にかけては、タイの経常収支黒字など好調なファンダメンタルズが支援材料となったほか、世界的に金利が上昇する中で日銀が緩和的な金融政策を継続したことを背景に円安が進んだことなどから、タイ・バーツは対円でおおむね上昇して推移しました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド」の受益証券を通じて、タイ企業の株式に投資し、値上がり益の獲得を追求することにより、信託財産の成長をめざします。

■ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド

主として、輸出や投資、消費の拡大に注目して、タイ企業の株式に投資し、値上がり益の獲得を追求することにより、信託財産の成長をめざします。

信託期間中のポートフォリオについて （2013. 2. 28 ～ 2023. 2. 27）

■当ファンド

信託期間を通じて「ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド」を高位に組み入れました。

■ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド

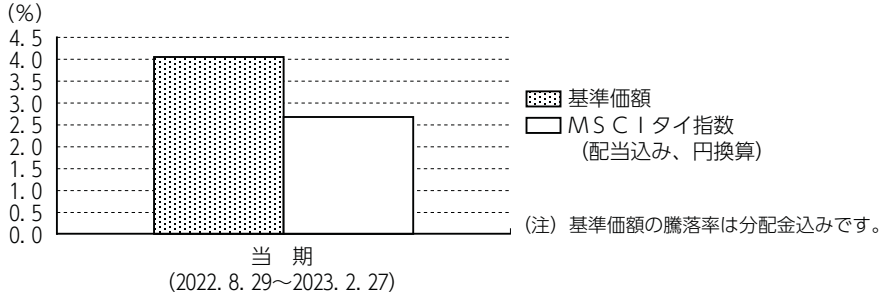
タイ株式の中から、中長期的に高い利益成長が期待できる銘柄に分散投資を行いました。業種では、資産内容の改善や貸出残高の増加を背景とした業績拡大が期待され、株価バリュエーション面でも魅力的だと判断した大手銀行を中心に金融セクター、中長期的な原油価格の上昇の恩恵が期待されたエネルギーセクターなどを高位組み入れとしました。

個別銘柄では、個人消費拡大の恩恵が期待されたコンビニ大手の CP ALL PCL-FOREIGN（生活必需品）や株価バリュエーション面で魅力的だと判断したエネルギー大手の PTT PCL（エネルギー）などを高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はタイ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

1万口当り、第3期150円、第4期550円、第8期100円、第9期150円、第10期600円、第16期300円、第17期40円、第18期200円、第19期550円の収益分配を行いました。第1期～第2期、第5期～第7期、第11期～第15期の収益分配につきましては、基準価額の水準等を勘案し、見送らせていただきました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

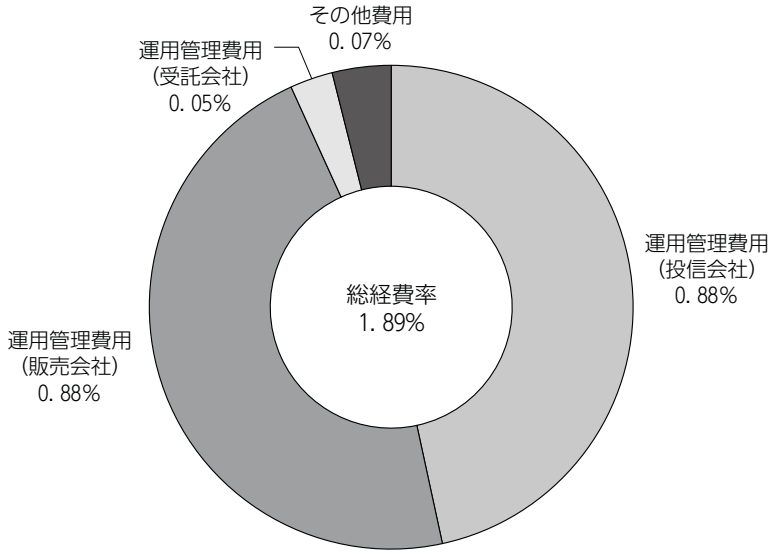
項目	当期 (2022.8.30～2023.2.27)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	88円	0.905%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は9,730円です。**
（投信会社）	(43)	(0.439)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(43)	(0.439)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	34	0.352	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(34)	(0.352)	
有価証券取引税	1	0.006	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(1)	(0.006)	
その他費用	4	0.037	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.037)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	126	1.300	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.89%です。



(注１) １万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注２) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注３) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2022年８月30日から2023年２月27日まで）

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド	24,644	36,000	1,308,198	2,010,037

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2022年８月30日から2023年２月27日まで）

項目	当期
	ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド
（a）期中の株式売買金額	1,932,398千円
（b）期中の平均組入株式時価総額	1,790,360千円
（c）売買高比率（a）／（b）	1.07

（注１）（b）は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
（注２）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種類	期首
	口数
	千口
ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド	1,283,554

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年２月27日現在

項目	償還時	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	1,237,125	100.0
投資信託財産総額	1,237,125	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年２月27日現在

項目	償還時
（A）資産	**1,237,125,721円**
コール・ローン等	1,237,125,721
（B）負債	**67,684,383**
未払解約金	51,353,557
未払信託報酬	16,329,679
未払利息	1,147
（C）純資産総額（A－B）	**1,169,441,338**
元本	1,172,441,082
償還差損益金	△ 2,999,744
（D）受益権総口数	**1,172,441,082口**
１万口当り償還価額（C／D）	**9,974円41銭**

＊期首における元本額は1,975,866,325円、当作成期間中における追加設定元本額は30,976,027円、同解約元本額は834,401,270円です。
＊償還時の計算口数当りの純資産額は9,974円41銭です。
＊償還時の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,999,744円です。

■損益の状況

当期　自2022年８月30日　至2023年２月27日

項目	当期
（A）配当等収益	**△ 3,403円**
受取利息	1,302
支払利息	△ 4,705
（B）有価証券売買損益	**61,814,608**
売買益	90,415,799
売買損	△ 28,601,191
（C）信託報酬等	**△ 16,329,679**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	**45,481,526**
（E）前期繰越損益金	**△ 70,308,562**
（F）追加信託差損益金	**21,827,292**
（配当等相当額）	（150,927,728）
（売買損益相当額）	（△ 129,100,436）
（G）合計（D＋E＋F）	**△ 2,999,744**
償還差損益金（G）	**△ 2,999,744**

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：4,270,378円（未監査）

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年2月28日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年2月27日		資産総額	1,237,125,721円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	67,684,383円
				純資産総額	1,169,441,338円
受益権口数	26,447,764,531口	1,172,441,082口	△25,275,323,449口	受益権口数	1,172,441,082口
元本額	26,447,764,531円	1,172,441,082円	△25,275,323,449円	1単位当り償還金	9,974円41銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	36,233,512,321	30,442,754,791	8,402	0	0.00
第2期	34,093,482,046	28,729,207,719	8,427	0	0.00
第3期	24,804,273,015	25,770,755,573	10,390	150	1.50
第4期	16,918,347,192	18,523,460,320	10,949	550	5.50
第5期	13,989,565,656	12,126,351,537	8,668	0	0.00
第6期	11,914,331,685	10,113,098,050	8,488	0	0.00
第7期	10,079,863,354	9,351,178,762	9,277	0	0.00
第8期	7,845,821,965	7,931,909,014	10,110	100	1.00
第9期	5,883,784,493	6,188,826,362	10,518	150	1.50
第10期	4,919,185,481	6,302,230,179	12,812	600	6.00
第11期	5,276,851,456	6,119,923,975	11,598	0	0.00
第12期	4,661,540,246	5,383,566,866	11,549	0	0.00
第13期	3,874,571,867	4,213,095,974	10,874	0	0.00
第14期	3,314,871,120	2,944,033,250	8,881	0	0.00
第15期	3,047,022,234	2,578,067,781	8,461	0	0.00
第16期	2,609,379,985	2,401,823,703	9,205	300	3.00
第17期	3,400,173,459	3,042,536,009	8,948	40	0.40
第18期	2,137,837,017	2,021,677,729	9,457	200	2.00
第19期	1,975,866,325	1,894,152,698	9,586	550	5.50

(注) 1単位は受益権1万口。

償還金のお知らせ	
1万口当り償還金	9,974円41銭

ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンド

運用報告書　繰上償還　（償還日　2023年２月24日）

（作成対象期間　2022年８月30日～2023年２月24日）

ダイワ・ライジング・タイランド株式マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

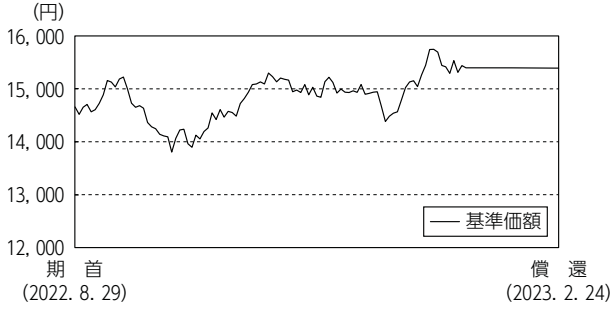
★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

運　用　方　針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	タイ企業の株式（ＤＲ（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		MSCIタイ指数(配当込み、円換算)		株式組入比率	株式先物比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率		
	円	%		%	%	%
(期首)2022年 8 月29日	14,658	—	16,404	—	97.3	—
8 月末	14,653	△ 0.0	16,322	△ 0.5	97.2	—
9 月末	14,110	△ 3.7	16,002	△ 2.5	94.3	—
10月末	14,819	1.1	16,657	1.5	95.3	—
11月末	15,135	3.3	17,072	4.1	95.7	—
12月末	15,153	3.4	17,132	4.4	95.9	—
2023年 1 月末	15,398	5.0	17,778	8.4	—	—
(償還)2023年 2 月24日	15,391.91	5.0	16,955	3.4	—	—

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) ＭＳＣＩタイ指数（配当込み、円換算）は、ＭＳＣＩ Inc.（「ＭＳＣＩ」）の承諾を得て、ＭＳＣＩタイ指数（配当込み、タイ・バーツベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。ＭＳＣＩタイ指数（配当込み、タイ・バーツベース）は、ＭＳＣＩが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はＭＳＣＩに帰属します。またＭＳＣＩは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、ＭＳＣＩによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、ＭＳＣＩは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。
〔https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html〕
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
(注5) 株式組入比率は新株予約権証券を含みます。
(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

設定時：10,000円　償還時：15,391円91銭　騰落率：53.9%

【基準価額の主な変動要因】

タイ株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。タイ株式市況の上昇やタイ・バーツの対円での上昇（円安）がプラス要因となりました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

◆設定以来の投資環境について

○タイ株式市況

タイ株式市況は上昇しました。

当ファンド設定時から2020年１月にかけてのタイ株式市況は、おおむね上昇基調で推移しました。前半は、タイ中央銀行の利下げやタイ軍事政権下の景気回復期待などが相場を後押ししました。後半に入ると、タイ国内景気の回復に加え、先進国でマイナス金利が広がり高いリターンを求める資金がアセアン市場へ流入したことなどが、支援材料となりました。２月に入ると、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大から観光産業を中心にタイ経済への悪影響が懸念され、下落しました。11月から2023年２月の償還にかけては、新型コロナウイルスのワクチン普及による世界経済の正常化や、タイでの行動制限の緩和が進んだことなどを背景に、おおむね上昇基調となりました。

○為替相場

タイ・バーツは、円に対して上昇しました。

タイ・バーツの対円為替相場は、当ファンド設定時から2016年12月にかけて、中国の景気減速や原油価格の下落などを受けて世界的にリスク回避姿勢が強まった局面ではタイ・バーツは弱含んで推移した一方で、米国の大統領選挙でトランプ氏が当選し経済政策への期待から市場のリスク選好姿勢が強まった局面では強含んで推移するなど、方向感のない動きとなりました。2017年から2023年２月の償還にかけては、タイの経常収支黒字など好調なファンダメンタルズが支援材料となったほか、世界的に金利が上昇する中で日銀が緩和的な金融政策を継続したことを背景に円安が進んだことなどから、タイ・バーツは対円でおおむね上昇して推移しました。

◆信託期間中の運用方針

主として、輸出や投資、消費の拡大に注目して、タイ企業の株式に投資し、値上がり益の獲得を追求することにより、信託財産の成長をめざします。

◆信託期間中のポートフォリオについて

タイ株式の中から、中長期的に高い利益成長が期待できる銘柄に分散投資を行いました。業種では、資産内容の改善や貸出残高の増加を背景とした業績拡大が期待され、株価バリュエーション面でも魅力的だと判断した大手銀行を中心に金融セクター、中長期的な原油価格の上昇の恩恵が期待されたエネルギーセクターなどを高位組み入れとしました。

個別銘柄では、個人消費拡大の恩恵が期待されたコンビニ大手のCP ALL PCL-FOREIGN（生活必需品）や株価バリュエーション面で魅力的だと判断したエネルギー大手のPTT PCL（エネルギー）などを高位に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 （株式）	53円 (53)
有価証券取引税 （株式）	1 (1)
その他費用 （保管費用）	10 (10)
合計	63

（注1）費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
（注2）項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
株式

（2022年8月30日から2023年2月24日まで）

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
		百株	千タイ・バーツ	百株	千タイ・バーツ
外国	タイ	— (△ 48.6)	— (△ 28)	107,766.16	486,344

（注1）金額は受渡し代金。
（注2）（ ）内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
株式

（2022年8月30日から2023年2月24日まで）

当期								
買付				売付				
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
				CP ALL PCL-FOREIGN（タイ）	660	177,805	269
				BANGKOK DUSIT MED SERVICE-F（タイ）	1,467.3	174,548	118
				AIRPORTS OF THAILAND PCL-FOR（タイ）	555.8	164,220	295
				PTT PCL/FOREIGN（タイ）	1,059.3	139,880	132
				PTT EXPLORATION & PROD-FOR（タイ）	191.1	129,681	678
				ADVANCED INFO SERVICE-FOR RG（タイ）	138.3	109,599	792
				SIAM CEMENT PUB CO-FOR REG（タイ）	73.7	103,872	1,409
				CENTRAL PATTANA PUB CO-FOREI（タイ）	362.2	99,002	273
				SCB X PUBLIC COMPANY LIMITED PCL F（タイ）	217.9	94,578	434
				CENTRAL RETAIL CORP-FOREIGN（タイ）	470	81,075	172

（注1）金額は受渡し代金。
（注2）金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

外国株式

銘柄	期首 株数	業種等
	百株	
(タイ)		
SCB X PUBLIC COMPANY LIMITED PCL F	2,179	金融
THAI OIL PCL	48.6	エネルギー
ENERGY ABSOLUTE PCL-NVDR	300	公益事業
BANGKOK BANK PCL-FOREIGN REG	250	金融
SIAM CEMENT PUB CO-FOR REG	737	素材
MUANGTHAI CAPITAL PCL-FOREIG	1,644	金融
KASIKORNBANK PCL-FOREIGN	1,140	金融
BUMRUNGRAD HOSPITAL-FOREIGN	150	ヘルスケア
CENTRAL PLAZA HOTEL PCL-FRGN	600	一般消費財・サービス
LAND & HOUSES PUB CO-FOR REG	4,355	不動産
TISCO FINANCIAL-FOREIGN	804	金融
BANGKOK EXPRESSWAY AND METRO	6,030	資本財・サービス
COM7 PCL-F	2,560	一般消費財・サービス
SABINA PCL-FOREIGN	2,767	一般消費財・サービス
TQM ALPHA PCL F	1,206	金融
GULF ENERGY DEVELOPM-FOREIGN	1,700	公益事業
B GRIMM POWER PCL-FOREIGN	670	公益事業
GLOBAL POWER SYNERGY PCL-F	938	公益事業
CENTRAL RETAIL CORP-FOREIGN	4,700	一般消費財・サービス
SIAM GLOBAL HOUSE PCL-FOREIG	0.16	一般消費財・サービス
HOME PRODUCT CENTER PCL-FOR	10,663	一般消費財・サービス
ADVANCED INFO SERVICE-FOR RG	1,383	コミュニケーション・サービス
CHAROEN POKPHAND FOOD-FORGN	3,484	生活必需品
MINOR INTERNATIONAL PCL-FOR	6,499	一般消費財・サービス
BTS GROUP HOLDINGS PCL-FORGN	5,360	資本財・サービス
BANGKOK DUSIT MED SERVICE-F	14,673	ヘルスケア
PTT EXPLORATION & PROD-FOR	1,911	エネルギー
ELECTRICITY GEN PUB CO-FOREI	134	公益事業
PTT PCL/FOREIGN	10,593	エネルギー
THAI OIL PCL-FOREIGN	572	エネルギー
CP ALL PCL-FOREIGN	6,600	生活必需品
AIRPORTS OF THAILAND PCL-FOR	5,558	資本財・サービス
CENTRAL PATTANA PUB CO-FOREI	3,622	不動産
INDORAMA VENTURES-FOREIGN	900	素材
PTT GLOBAL CHEMICAL PCL-FOR	3,084	素材
ファンド 株数	107,814.76	
合計 銘柄数	35銘柄	

■投資信託財産の構成

2023年2月24日現在

項目	償還時 評価額	償還時 比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	1,232,639	100.0
投資信託財産総額	1,232,639	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年2月24日現在

項目	償還時
(A)資産	**1,232,639,965円**
コール・ローン等	1,232,639,965
(B)負債	**2,466**
未払利息	2,466
(C)純資産総額(A−B)	**1,232,637,499**
元本	800,834,901
償還差損益金	431,802,598
(D)受益権総口数	**800,834,901口**
1万口当り償還価額(C／D)	**15,391円91銭**

＊期首における元本額は1,283,554,281円、当作成期間中における追加設定元本額は24,644,585円、同解約元本額は507,363,965円です。
＊償還時における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
ダイワ・ライジング・タイランド株式ファンド 800,834,901円
＊償還時の計算口数当りの純資産額は15,391円91銭です。

■損益の状況

当期 自2022年8月30日 至2023年2月24日

項目	当期	
(A)配当等収益		**10,731,392円**
受取配当金		10,730,846
受取利息		63,237
支払利息	△	62,691
(B)有価証券売買損益		**83,118,400**
売買益		134,458,308
売買損	△	51,339,908
(C)その他費用	△	**1,187,598**
(D)当期損益金(A＋B＋C)		**92,662,194**
(E)前期繰越損益金		**597,821,024**
(F)解約差損益金	△	**270,036,035**
(G)追加信託差損益金		**11,355,415**
(H)合計(D＋E＋F＋G)		**431,802,598**
償還差損益金(H)		**431,802,598**

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。